

広島県経済の動向

令和8年7月31日

商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（１）国内経済の動向	
	（２）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（１）鉄鋼	
	（２）自動車	
	（３）造船	
	（４）一般機械	
	（５）電気機械	
3	中小企業の動向	5
	（１）概況	
	（２）景況感・景況感の変化	
	（３）前月から変化のあった主な業種	
4	企業倒産状況	7
	（１）概況	
	（２）業種別	
	（３）原因別	
	（４）今後の見通し	
5	最近の雇用失業情勢	8
	（１）県内の有効求人・求職の動向	
	（２）県内の新規求人・求職の動向	
	（３）県内の人員整理の状況	
	（４）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	令和 8 年		
	4 月	5 月	6 月
基調判断	景気は、穏やかに回復しているが、 中東情勢の影響を注視する必要がある		
輸 出	おおむね横ばいとなっている		このところ 持ち直しの動きが みられる
生 産	横ばいとなっている		
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直しの動きがみられる ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きと なっていることに注意が必要である		持ち直しの動きが みられる
住宅建設	弱含んでいる		
消費者物価	このところ 緩やかに上昇している	緩やかに上昇している	
企業収益	米国の通商政策の 影響が残るものの、 改善の動きがみられる	改善の動きがみられるが、 中東情勢の影響を注視する必要がある	

イ 先行き

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和 8 年 6 月 30 日公表）】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	令和8年		
	4月	5月	6月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	緩やかに持ち直している		
生 産	緩やかに持ち直している		
設備投資	増加している		
雇用・所得	緩やかに改善している		
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	下げ止まっている		
消費者物価 (除く生鮮食品、広島市)	1%台後半のプラスとなっている	1%台半ばのプラスとなっている	

イ 県内の経済の先行き

今後の中東情勢の展開や原油価格の動向などが、企業の生産や賃金・価格設定行動、個人消費の動向など、県内の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和8年7月1日公表)】

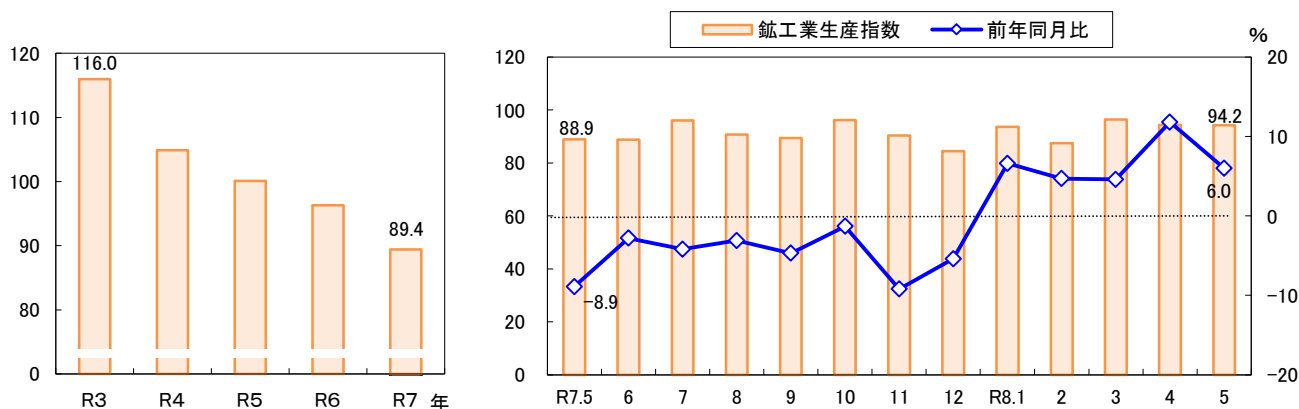
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和8年5月）

5月の鉄工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、令和2年＝100）は94.2で、前年同月比で6.0%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別・月別・前年同月比)

【県統計課】

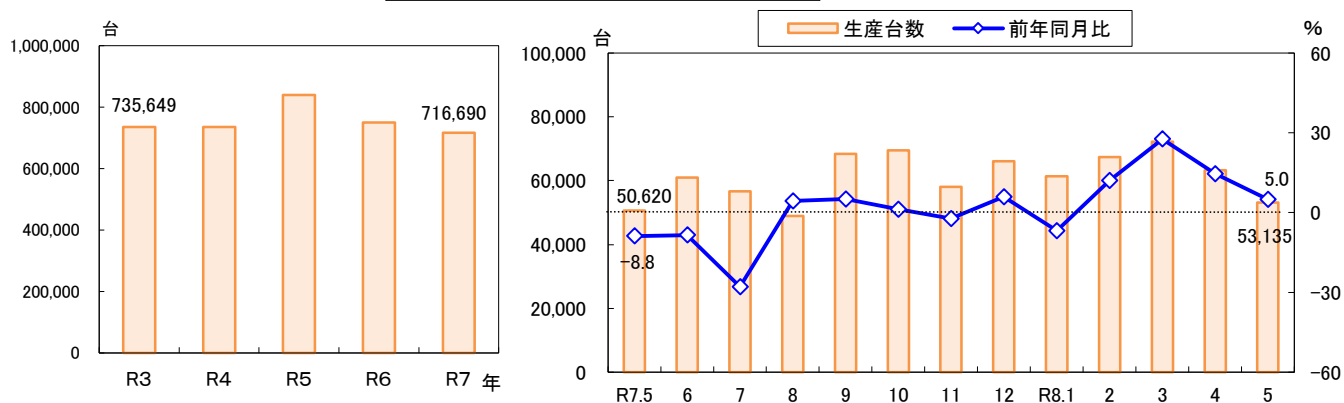


(2) 自動車（令和8年5月）

5月の国内生産台数は53,135台で、前年同月比で5.0%増加となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比)

【マツダ（株）】

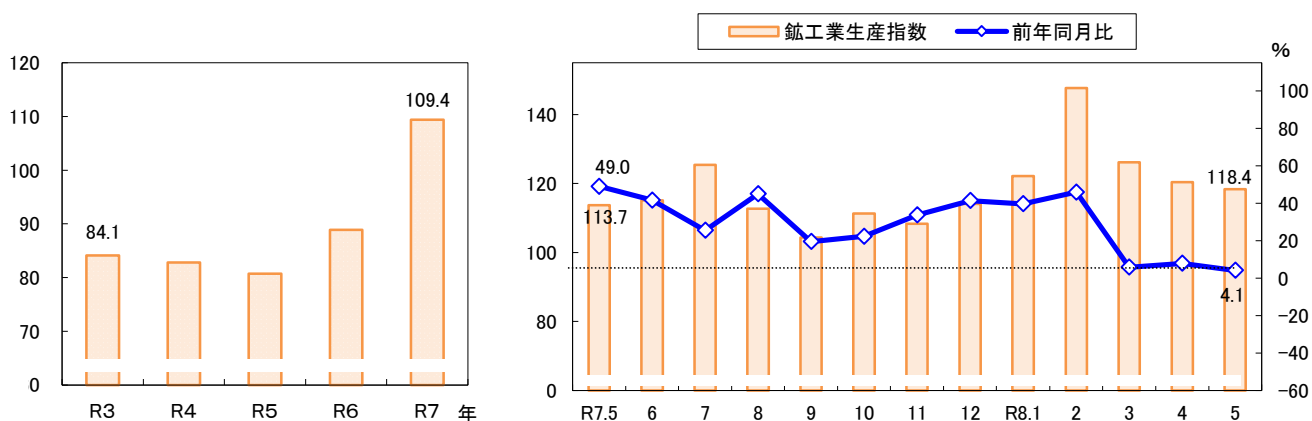


(3) 造船（令和8年5月）

5月の鉄工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、令和2年＝100）は118.4で、前年同月比で4.1%増加となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別・月別・前年同月比)

【県統計課】

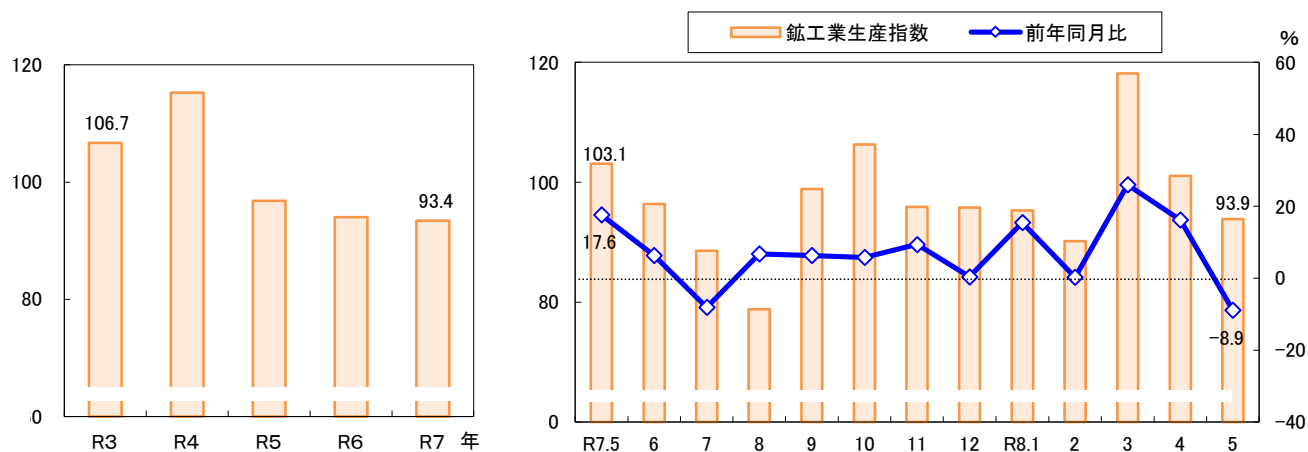


(4) 一般機械（令和8年5月）

5月の鉱工業生産指数（一般機械工業（総合）、原指数、速報値、令和2年＝100）は93.9で、前年同月比で8.9%減少となっている。

鉱工業生産指数（一般機械工業（総合））（年別、月別・前年同月比）

【県統計課】

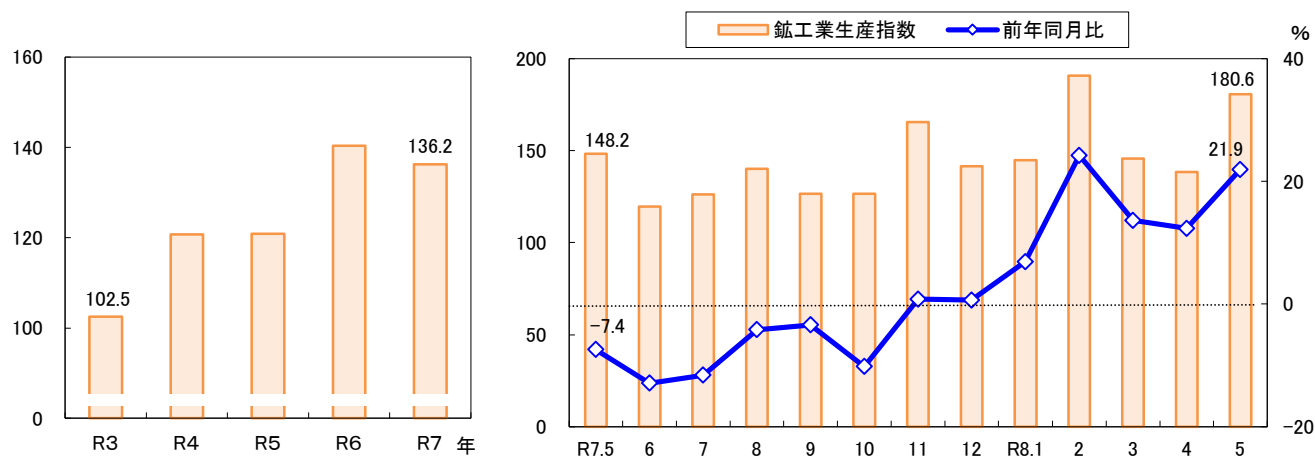


(5) 電気機械（令和8年5月）

5月の鉱工業生産指数（電気機械工業（総合）、原指数、速報値、令和2年＝100）は180.6で、前年同月比で21.9%増加となっている。

鉱工業生産指数（電気機械工業（総合））（年別、月別・前年同月比）

【県統計課】



3 中小企業の動向（令和8年5月）

【広島県中小企業団体中央会（令和8年6月16日時点）】

（1）概況

県内の多くの中小企業は、原材料費や人件費等の上昇、さらに中東情勢（ホルムズ海峡封鎖）の長期化に伴う調達難や仕入れ価格の高騰が続く、収益を圧迫する厳しい状況が見られる。こうした影響に加え、これら一連のコスト増加分を販売価格に十分転嫁できず、採算悪化への懸念があるなど、先行きについても依然として不透明な状況が続いている。

自動車関連業種では、5月の国内自動車販売台数は前年同月比+2.8%と2か月連続増加した一方、マツダ車は前年同月比▲10.1%と5か月連続の減少となった。

また、木材業界では、5月の全国新設住宅着工戸数は57,877戸で前年同月比+33.9%となり、県内の5月の着工戸数は940戸で、前年同月比+5.3%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「5月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の5月分のデータに基づく

（2）景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	やや悪い	普通
繊維・衣服	やや悪い	普通
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	普通	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	やや悪い	悪い
鉄鋼（鋳物）	やや悪い	やや悪い
金属製品	普通	やや悪い

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	やや悪い
自動車部品	やや悪い	やや好況
造船	普通	やや好況
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや好況	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	4月	5月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	1	2	1
普通	7	5	▲ 2
やや悪い	11	11	0
悪い	0	1	1

(3) 前月（4月）から変化のあった主な業種

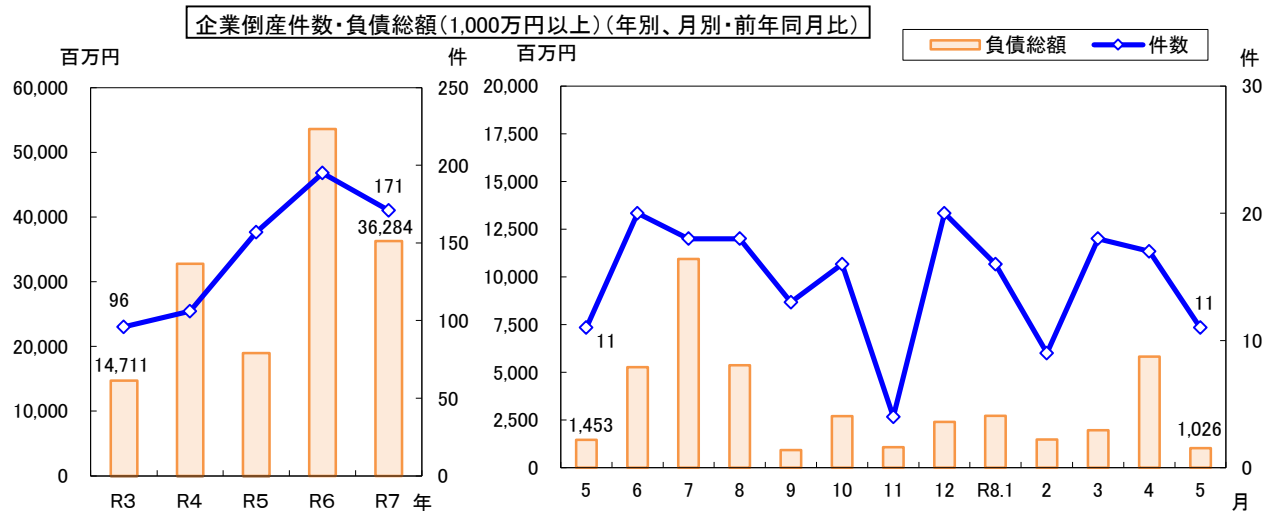
業種	4月の 景況感	5月の 景況感	変化の理由・状況
金属 製品	普通	やや悪い	現在、焼き入れ油や防錆油など各種工業用油の価格が急騰しており、その調達が極めて困難な状況にある。さらに、加工用工具（治具）をはじめとする各種資材の価格高騰も続いており、特に調達が難航している洗浄油については、現在代替品の選定・調査を進めている。 また、今後は電気代をはじめとするエネルギー価格の一段の上昇も見込まれる。足元では生産量こそ回復傾向にあるものの、こうした仕入れ価格の上昇が本格化していることに加え、採算の悪化や人材確保の難航が相まって、全体の業況悪化を招く要因となっている。 【広島金属熱処理協同組合】
電気機械 器具	普通	やや悪い	イラン情勢に大きな変化はないものの、原油供給への不安が続いており、その影響で原油を直接精製して得られる製品（シンナーなど）の調達がさらに困難となっている。また、加工された化学製品についても、価格の上昇が見られる。今後、原料不足が顕在化した場合、樹脂類などの入手が一層難しくなり、製造現場に深刻な影響を及ぼす恐れがある。 【広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）】

4 企業倒産状況（令和8年5月）

（1）概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が11件、総額10億2,600万円であった。
前月比では、件数が6件減、負債総額は47億9,700万円減少した。
前年同月比では、件数は変わらず、負債総額が4億2,700万円減少した。
大型倒産（負債総額10億円以上）はなかった。

区 分	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月
件 数 (前年同月比)	18件 (50.0%増)	17件 (5.6%減)	11件 (±0.0%)
負債総額 (前年同月比)	1,957百万円 (75.5%増)	5,823百万円 (190.4%増)	1,026百万円 (29.4%減)



（2）業種別

件数は、卸・小売・飲食業が5件、サービス業、その他が各2件、建設業、運輸・通信業が各1件となった。
負債総額は、サービス業、卸・小売業・飲食業、建設業、その他、運輸・通信業の順となった。

（3）原因別

原因別では、販売不振が9件、設備投資過大と事業外の失敗が各1件であった。

（4）今後の見通し

令和8年5月度の倒産件数は11件、負債総額10億2,600万円、件数は前年同月比は同一、前月比は2ヶ月連続の減少、負債総額は前年同月比、前月比ともに2ヶ月ぶりの減少となった。
業歴別倒産状況では30年以上が2件、10年以上が3件となり、業歴10年以上の倒産が全体の45.4%に止まったが、前月4月度では業歴10年以上の倒産が全体の70.5%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が9件で最多となり、既往のシワ寄せは0件、売掛金等回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は9件で全体の81.8%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は5月度11件中4件発生し、これまでの累計は330件（負債総額1,000万円未満、弁護士一任・準備中を除く）となった。

近時、増加傾向である代表者の急逝を要因とした倒産については発生しなかった。

トランプ関税に始まり、海外情勢の変動や悪化が為替や仕入に与える影響は大きく、特に中東地域に依存しているナフサについては供給が危ぶまれている。ホルムズ海峡など重要な航路の緊張や目詰まりが原因とされているが、塗装関連の商品は特に品薄となっており6月以降、一部の建設業者では工事の長期化やキャンセルを余儀なくされるケースが予想される。

建設業界では都度契約によって工事途中で一部入金されるケースがあるが、大半は完工後の入金となり、資金繰りが悪化する可能性は否めない。建設業界に限ったことではないが、供給不足による売上減少ならびにキャッシュフローの悪化は企業経営に多大なる影響を与える。

海外情勢の変動は激しく、為替や輸入が安定するとは期待できないなかで、サプライチェーンのマネジメントも重要なが資金繰りの安定化を図ることが企業を存続させる喫緊の課題と言える。

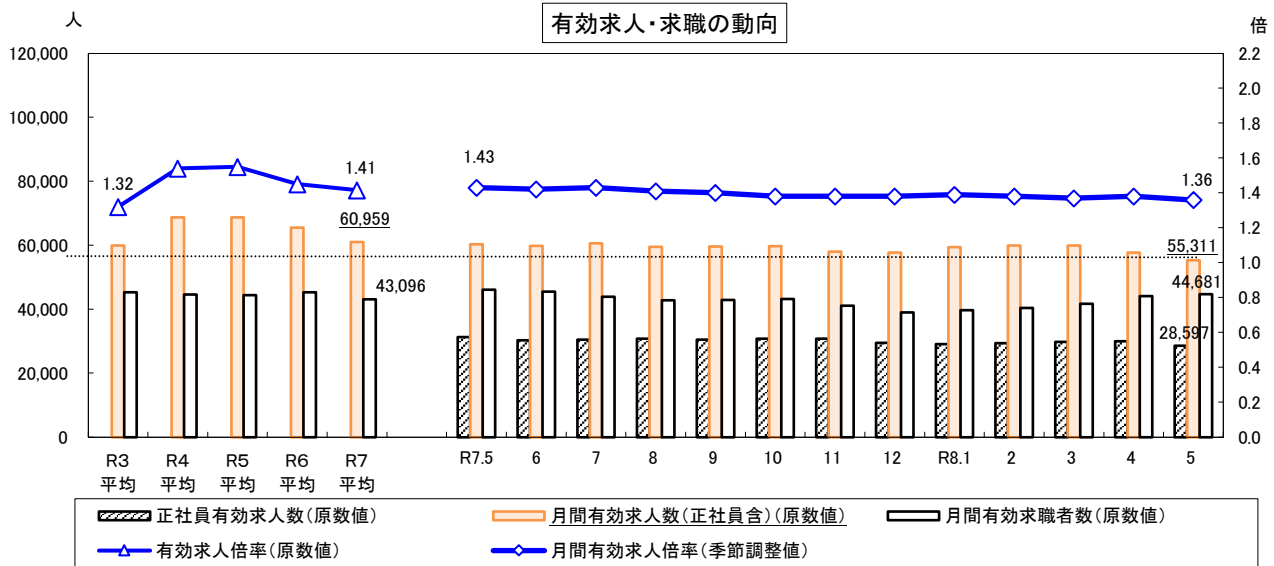
【（株）東京商工リサーチ（令和8年6月3日時点）】

5 最近の雇用失業情勢（令和8年5月）

(1) 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.37倍 (▲0.01ポイント)	1.38倍 (+0.01ポイント)	1.36倍 (▲0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.23倍 (▲0.04ポイント)	1.16倍 (▲0.07ポイント)	1.13倍 (▲0.05ポイント)

【広島労働局】

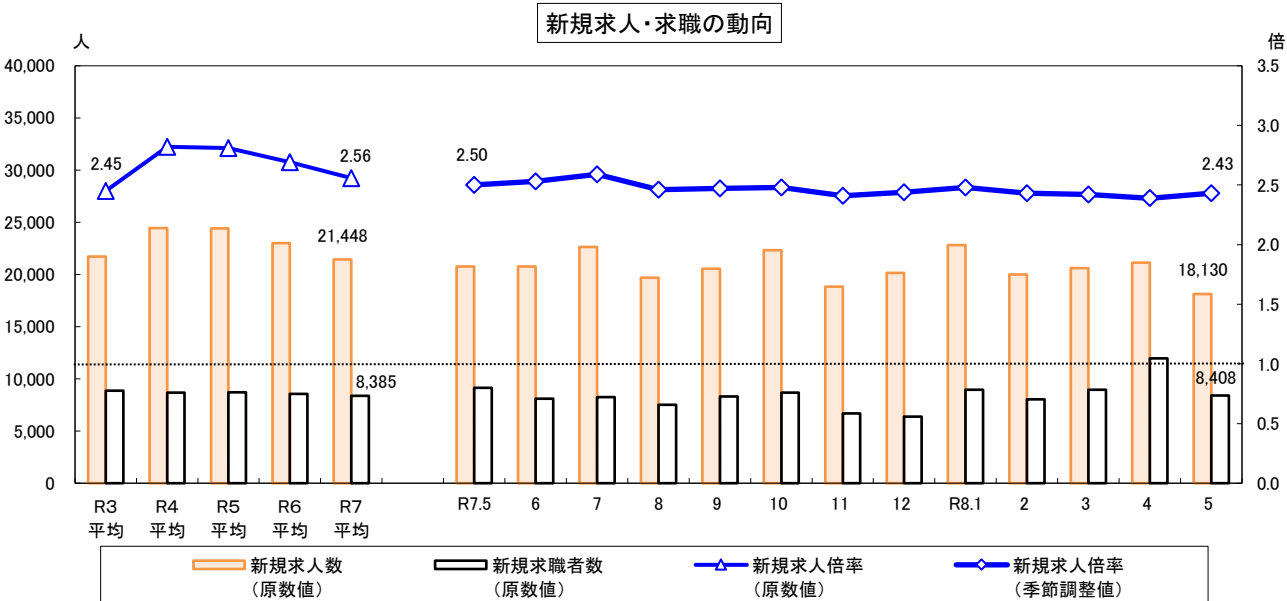


- (注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
- (注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
- (注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(2) 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.42倍 (▲0.01ポイント)	2.39倍 (▲0.03ポイント)	2.43倍 (+0.04ポイント)

【広島労働局】

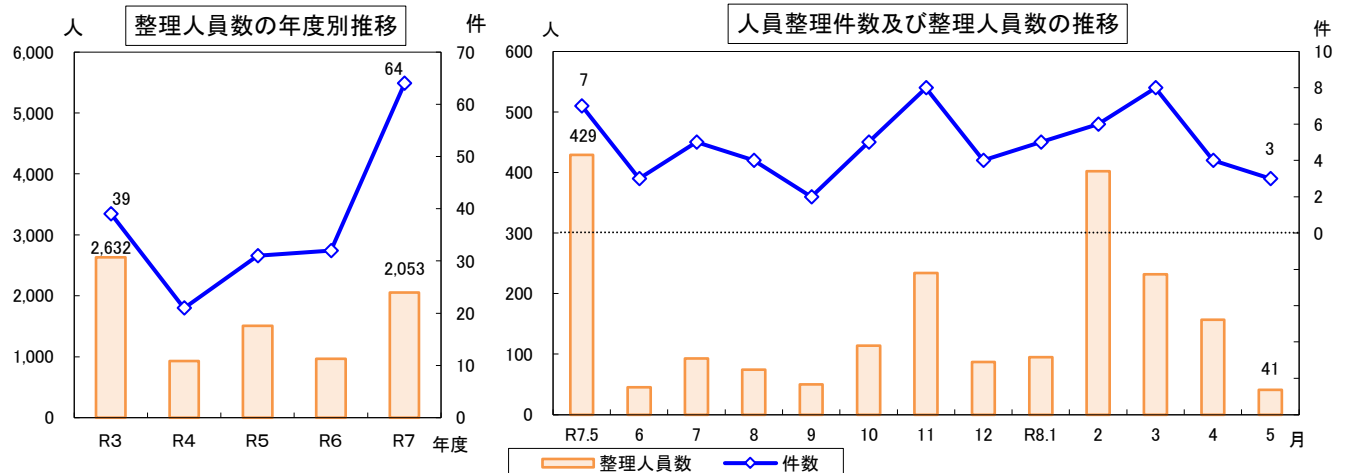


- (注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月
件数 (前年同月比)	8件 (+5件)	4件 (▲3件)	3件 (▲4件)
整理人員 (前年同月比)	232人 (+151人)	157人 (▲41人)	41人 (▲388人)

【広島労働局】

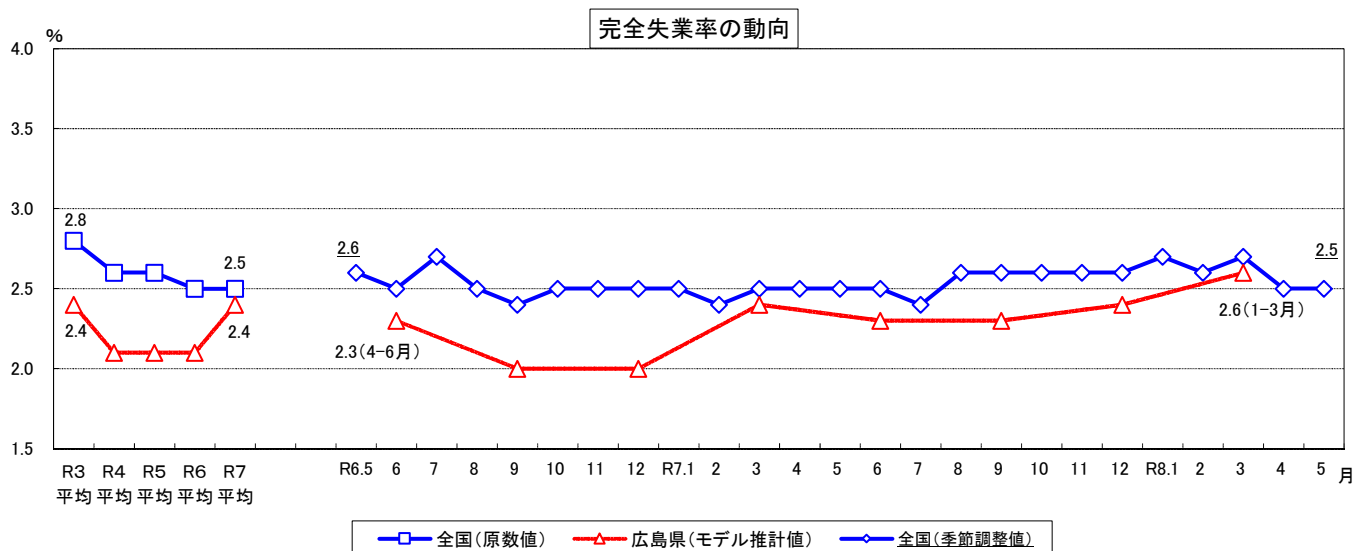


(4) 完全失業率の状況（全国・県内）

区 分	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月
全国完全失業者数 (前年同月比)	194万人 (+14万人)	193万人 (+5万人)	185万人 (+2万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.7% (+0.1ポイント)	2.5% (▲0.2ポイント)	2.5% (±0.0ポイント)

区 分	令和7年		令和8年
	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.3% (±0.0ポイント)	2.4% (+0.1ポイント)	2.6% (+0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去に遡って一部改定している。